

被災後の木造仮設構造物

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2019年09月03日 ～2019年09月21日	イタリア	ローマ大学サピエンツァ	・建築学科 ・学部3年生	(芝浦工業大学) 学生15名、TA2名、教員2名 (ローマ大学サピエンツァ) 学生13名、教員2名	山代 悟(建築学科)、六角 美瑠(デザイン工学科)



図1 ワークショップ風景

イタリア・ローマ大学サピエンツァとの共同ワークショップを中心とした建築実習です。現地での滞在は3週間。ローマ大学は世界でも最古の大学のひとつであり、ローマの中心街に位置します。英語を主要言語としたワークショップを通じて専門的な知識や技能を習得することはもちろんですが、市内や近郊の都市空間や建築を体験することも重要な学びとなった。

ワークショップのテーマは自然災害や難民の流入などの後の仮設住宅や復興住宅がテーマとなった。日本とイタリアという全く異なる歴史的文化的背景をもちつつも、地震国という共通点をもつ国の間で災害と建築という共通のテーマを考えることは大きな気づきと学びをもたらすものであった。



図2 ワークショップ参加者



図3 講義風景



図4 最終講評会